## **ThreeBond**

技術資料

1999.04.19 株式会社スリーボンド

## ThreeBond 6602R

ブレーキ&パーツクリーナー ラージタイプ

### 1. 概要

ThreeBond 6602Rは自動車のブレーキシュー、ブレーキドラム、機械部品専用の作業性を考えた速乾性洗浄剤です。付着した油脂類などの汚れを簡単に衛生的に洗浄できます。また、倒立使用が可能です。

## 2. 特長

- 1) ブレーキシューやブレーキドラムに付着した汚れを簡単に衛生的に洗い流すことができます。
- 2)機械部品の油脂類等の汚れを簡単に洗浄することができます。
- 3) 速乾性なので作業性が向上します。

#### 3. 用途

自動車のブレーキシュー、ブレーキドラムの洗浄及び機械部品の脱脂洗浄。

#### 4. 一般性状

項目	単位	原液性状	試験方法
外観		無色	3TS-201-01
加熱残分	%	0.00	3TS-217-01
比 重		0.67	3TS-213-01
乾燥性	秒	30	試験方法参考

## 5. 特 性

## 1)洗浄性

項目	
ブレーキフルード	合 格
ギアオイル	合 格

#### 2) 材料等への影響

1			
樹	脂	金	属
ポリプロピレン	異状無し	鋳鉄	異状無し
ナイロン	異状無し	鋼	異状無し
ポ <sup>°</sup> リエチレン	異状無し	アルミニウム	異状無し
フェノール	異状無し	真鍮	異状無し
ABS	異状無し	銅	異状無し
PP0	異状無し	亜鉛	異状無し

### 6. 試験方法

#### 6. 1特性

- 1)一般性状
  - 3 T S 試験方法に基づき試験する。
- 9) 虧燥性
  - ①ブレーキライニング(普通自動車用)にThreeBond 6602Rを10秒間全面に噴霧する。
  - ②噴霧直後からブレーキライニング表面が完全乾燥するまでの時間を目視にて測定する。
  - ③試験用ブレーキライニング・ThreeBond 6602Rは事前に25℃に保ち、試験条件は25℃×60%RHにて行う。

## ThreeBond

- 6. 2 一般性状
  - 1) 洗浄性
    - ①100mLのガラス容器に25°Cの洗浄液50mLと油脂類を1mLとり、激しく撹拌する。
    - ②その後5分間静置しその状態を観察し均一に溶解していれば合格とする。
  - 2) 材料等への影響
    - ①25℃の洗浄液にテストピースが完全に浸るように浸漬する。
    - ②30分経過後これを取り出しエアブローにて乾燥させ放置する。
    - ③5分後目視にて観察し試験結果とする。
    - ④樹脂については100×10×2mmの寸法の物を使用する、金属についてはJIS K 2233の 7.6金属腐食試験に規定するテストピースを使用する。
- 7. 警告(可燃性注意·破裂注意)
  - \*吸入飲用不可 人体に害があるので、吸入したり飲んだりしないでください。
  - \*引火性がありますので、火気に近づけないでください。
  - \*吸入すると害があるので、通気のよい所で使用してください。
  - \*皮膚の弱い人方や、長時間お使いになる場合は、保護手袋を使用してください。
  - \*人体に向けて使用しないでください。
  - \*高温にすると破裂する恐れがあるので、直射日光の当たる所や40℃以上の所、特にフロントウインドやリヤウインドの近く、または座席の上及びファンヒーターの吹き出し口の側等には置かないでください。
  - \*子供の手の届く所に置かないでください。
- 8. 応急処置
  - \*万一飲み込んだ場合は、吐かせずに、直ちに医師の診察を受けてください。
  - \*誤って目に入った場合や皮膚に付着した場合は、直ちに清水で15分以上洗浄してください。 異常があれば医師の診察を受けてください。
  - \*作業中に気分が悪くなった場合は、使用を中止し、通気の良い所で安静にしてください。気分が回復しない場合は、医師の診察を受けてください。
- 9. 使用上の注意及び使用方法
  - \*上記用途以外には使用しないでください。
  - \*ゴム・プラスチック部品には多量にかけないようにしてください。
  - \*シミになる恐れがあるので、衣服に付着しないようにしてください。
  - \*噴射ガスだけが出てしまう恐れがあるので、横向きでは使用しないでください。
  - \*缶を立てて置くときは、倒れやすいので安定な場所に置いてください。
  - \*本表示に記載されていない危険有害性につきましてはMSDS (製品安全データシート)をお読みください。
  - ①液の受け皿を洗浄箇所の下に置いてください。
  - ②添付のノズルを付け噴射方向を確認し、施工箇所から30~40cm離し、粉じんが飛散しないように軽くスプレーして全体を湿らせ、次にノズルを汚れの部分に近づけてスプレーしてください。
  - ③機械部品に溜まった洗浄液や乾いていない箇所は布で拭きとるかエアーで乾燥させた後、組み付けてください。
  - ④汚れがひどい場合は、ブラシ、ウエス等を使用してください。
  - ⑤乾燥が不十分な場合には、一時的に制動力が低下しますので、かならず制動力テストを2~3回行って、制動力を確認してから走行してください。
  - ⑥受け皿の粉じんと使用した布などは、産業廃棄物として処理して下さい。

#### 10. 保管及び廃棄方法

- \*保管の際は、直射日光の当たる所、40℃以上になる所や錆の発生しやすい水のかかりやすい所、湿気の多い所や凍結する所に置かないでください
- \*廃棄の際は、中味を使いきってから、火気のない戸外で噴射音が消えるまでボタンを押し、ガス完全に抜いてから捨ててください

# **ThreeBond**

1 1. 法規制

消 防 法:第四類第一石油類 石油系炭化水素595mL 危険等級Ⅱ 火気厳禁

高圧ガス保安法:火気と高温に注意 車内持込厳禁 LPG、CO2使用

12. 商品形態 840mL エアゾール缶

工業用(家庭用には使用しないでください。)

本製品をご使用になる前に以下の販売条件をご承諾のうえご使用ください。

- ①記載データ等の技術情報については、当社規定の試験方法による実験値でありますので正確性と安全性についての絶対的な保証はいたしかねます。ご使用される方は、本製品をご使用になる前に、用途、目的にかなっているかどうかを必ずご使用される方御自身でご判断頂き、それに伴うすべての責任と危険を御負担ください。保証の範囲は、明らかな不良品の交換のみとさせて頂きます。
- ②本製品の誤った取り扱いによる傷害または損害については責任を負いかねます。
- ③本書に記載されている以外の事項については、契約書によらない限り責任を負いかねます。